１.研究動機

新型コロナウイルスの影響で自粛が当たり前になり、人と関わることが減った状況に何か自分ができることはないかを考えた。

２.研究概要

関わっていなくても‘繋がる郡上’を感じられるような取り組みを目指しコロナの終息を願う作品作りをした。

３.研究内容

・千羽鶴の十倍である万羽鶴を計画した。（千羽鶴には幸福祈願、病気平癒祈願などの意味がある。）
・色は白色。（願い事を書きやすくするため。白には健康や落ち着きなどの意味がある。学校の古紙を利用し環境にやさしい作品にするため。）
・郡上市内でのできる限り多くに人何協力してもらい折って願い事の書かれた鶴を回収し、繋げる。
・たくさんの人が見ることのできる場所に設置し、勇気を与えられるような壮大な作品を作る。

４.まとめ

郡上市の人は私たちのことを応援してくださっているのがわかった。

保育園から介護施設まで厚く協力してもらって進めることができ、郡上市のつながりの強さを感じることができた。

１万羽には達しなかったが、はちまん児童館が引き継いでくれることとなり、郡上市を離れても自分の始めた活動が継続されるのでうれしい。

５.協力団体紹介

はちまん児童館
はちまん幼稚園
デイケアセンターなごみ
郡上市立郡上東中学校剣道クラブ
郡上高等学校総合学科

１９番　佐野　弦太